



GIFU PHYSICAL THERAPY ASSOCIATION NEWS

(公社) 岐阜県理学療法士会ニュース

らいちょう

No.116

HP:physiotherapy.gifu@gamma.ocn.ne.jp

「今年もよろしくお願いします」

舟 木 一 夫

労働安全衛生法の改定で、50人以上いる事業所では、毎年1回、『ストレスチェック』の実施が義務づけられました。この制度は、労働者のストレスの程度を把握し、労働者自身のストレスへの気づきを促し、メンタルヘルス不調を未然に防止するためです。

自治労岐阜の「生活実態と意識に関する調査 2015」によると、仕事に起因する不安や悩み、ストレスが「ある（ある＋ややある）」と回答した人は74%で、特に「ある」と回答した人は32.3%で、男性よりも女性が高い傾向にあります。また職種別にみると、「保育士・幼稚園教諭」、「医療職」、「福祉職」において高い傾向になっています。

悩みの相談相手は、「家族」63.4%、「同僚」58.8%、「職場外の友人」50.9%、「上司」27.1%となっていますが、「相談できる人はいない」と回答した人は8%もいて、男性（12.5%）は女性（3.3%）よりも高く、年齢が上がるほど更に高くなる傾向にあります。

医療・福祉職の我々は仕事の不安・ストレスが高く、また男性、特に年寄りの人は相談相手が少ないようです。

「ピーナッツ」という漫画を知っていますか？「ピーナッツ」に登場するビーグル犬といえば、あの有名なスヌーピーです。「ピーナッツ」は、日本が全世界の売上額の約4割を占めているとも言われています。

その漫画の中には、いつも悩んでばかりで、自分に自信のない主人公のチャーリー・ブラウンがいて、その周りには、優しい仲間がいます。

チャーリー・ブラウンは、ベッドで人生の意味を考えては眠れない夜を過ごすことが多く、ベッドの上で寝ている飼い犬のスヌーピーにも悩みを話します。しかし、スヌーピーはベッドの上で気持ち良さそうに眠っているだけ、アドバイスも励ましもそこにはありません。

しばしば、友達のルーシーの精神分析相談（心の相談室）に通っています。そこでも、「これで良いのか

目 次

巻頭言「今年もよろしくお願いします」……(1)	会員の声 …………… (11)
平成 27 度 公益社団法人岐阜県理学療法士会	賛助広告 …………… (11)
第 4 回理事会議事録（要約） …………… (2)	賛助会員 …………… (14)
各部・委員会からの報告 …………… (2)	

な」と思わせるシリアスでのん気なアドバイスがかえってきます。

みんな、悩んでいるチャーリーに何も強制せず、黙ってそばにいたり、場違いなほどクールなことやお気楽なことをささやくだけです。こんなピーナッツの仲間を眺めているうちに、「これで、いいのかな」、「どうしてこんなに悩んでいたんだろう」と思えてくるとか・・・。

精神科医の香山リカ先生は、『悩んだときに元気が出るスヌーピー（祥伝社）』の解説で、人生のいろいろな問題に深く考えることをやめることは出来ないが、だからといってすべてに答えがあるわけでもなく、自分なりの答えに到達しなければならないわけでもない。問題から目をそらしたり、だらだらしながら何となく忘れたり、他の出来事に夢中になってしまったりしながら、「まあ、いいか」と肩の力を抜く。そんな解決方法があっても良いのではないかとっています。

ピーナッツの仲間はいつも優しくアドバイスをくれます。「で、それがどうしたの？」って。

今年の岐阜県理学療法士会は、忙しいかも・・・で、それがどうしたの？

今年もゆるく、よろしくお願いします。

平成 27 年度 公益社団法人岐阜県理学療法士会 第 4 回理事会議事録（要約）

開催日時：平成 28 年 2 月 8 日（日）

午後 1 時 30 分より

開催場所：岐阜県水産会館 第 2 会議室

出席者：楨林優、吉川昌子、堀信弘、和田範文、
山下恒彦、村雲憲、小野晶代、岡村秀人、
岸本泰樹、河合克尚、有田志保美（財務）
伊藤友紀（書記）

欠席者：舟木一夫、木村信博、田中利典、棚橋一憲

1. 新入会員報告（平成 28 年 2 月 5 日現在）
総会員数 1,523 名、在会 1,428、休会 95 名、
11/ 1 ～ 2/ 5 新入会員 0 名（申請中 4 名）
2. 平成 27 年度予算執行状況報告
3. 追加予算申請の審議：3 月の職能局研修の講師
交通費分など→承認
4. 平成 28 年度事業計画案及び予算計画案→承認
但し、各部局で収支・予算の分析を本年度末の
決算時に行い、次回に生かす
5. マイナンバー関連規約→承認（2/ 7 付施行）
6. 保険料助成申請のルールについて→承認
7. その他、現在岐阜県リハビリテーション白書作
成中、今後理学療法士会として会員の情報の把握
に努める必要がある。

<各部・委員会からの報告>

事務局より

会費未納者への対応について

JPTA ニュース No.298 号に未納者への会報誌の
発送停止の記載がありましたが、県士会におきま
しても同様に平成 28 年度より会費未納者に対して
は会員権利を停止させていただきます。今までの研修
会等への参加制限に加え、県士会広報誌「らいちょ
う」「学術誌」等の郵送物の発送停止を行います。
個人登録してあります FAX 送信も停止致します。

職場への一括送付の場合でも宛名シールから
未納者の名前を削除しますので、部署内で配布
される際には十分ご注意ください。

*会費割引制度導入について

本年度より協会と同様に、岐阜県理学療法士会でも
育児休業割引とシニア割引を導入しております。
申請は協会マイページから一括で行えます。対象の
会員の皆様にはぜひご利用頂きますようお願いいた
します。

*楽天カード情報更新手続きをお忘れなく！！

現在楽天カードを支払方法として登録しておられ
る方で、カード更新に伴い氏名や使用期限に変更が

生じた場合にはマイページ上での変更登録が必要です。例年、カード更新情報をマイページ上で変更登録していなかったために、カード決済ができなかったケースが多発しております。H28年度の会費決済は4月下旬が予定されています。手続きを忘れないようお願いします。

厚生部より

厚生部では、会員皆様の福利厚生で、ご結婚の際にカタログギフトを贈呈しています。

【会員の皆様へ】

厚生部では会員間の相互交流に関する事業（福利厚生事業）として①慶弔手配（災害見舞金、結婚お祝い、弔電など）②イベント助成をおこなってきました。

近年、県士会として予防理学療法について多く関わるようになり、自治体でのイベントや地域包括ケアシステムでの活動等病院を離れての活動が増えている現状があります。そこで何らかの事故が発生した際の会員の保護の必要性を感じ、平成28年度より新たな福利厚生として③理学療法士賠償責任保険に対する保険料助成を開始することになりました。

保険料助成についてのルールやQ&Aをよく読み、該当する方は別紙申請書を使用の上、申請をお願いします。

<理学療法士賠償責任保険制度について>

理学療法士賠償責任保険は協会会員のみが加入

できる補償制度です。新年度新規加入申し込み締め切りは毎年3月中旬です。

補償制度の詳細は協会HP <<http://hoken.ne.jp/rigaku/index.htm>>をご覧ください。

<申請方法>

申請用紙、添付書類A.B併せて3枚を郵送にて県士会事務局に提出してください。

申請は随時受け付けます。

<助成品の支給について>

申請後、審査を行い助成に該当すると判断された場合にはQuoカードを加入者証の住所に郵送します。審査、発送作業の為3～4か月の期間を頂く可能性があります。

<保険料・助成額について>

年間保険料は4000円ですが、中途加入の場合は始期日から満期までの月割りです。

助成額は保険料の2分の1額で500円単位端数切捨てとなります。

始期日	保険料	助成額
4月1日	4000円	2000円
5月1日	3670円	1500円
6月1日	3340円	1500円
7月1日	3010円	1500円
8月1日	2660円	1000円
9月1日	2330円	1000円
10月1日	2000円	1000円
11月1日	1670円	500円
12月1日	1340円	500円
1月1日	1010円	500円
2月1日	660円	0円
3月1日	330円	0円

平成28年2月7日 理事会承認

厚生部長 名和

<Q&A>

Q 1 理学療法士賠償責任保険とはどのようなものですか？加入は強制ですか？

A 1 公社) 日本理学療法士協会の会員のみが加入できる補償制度です。理学療法業務に関わる事故（身体に障害のある者に対する理学療法業務中の事故、健康者に対する理学療法中の事故）と日常生活に関わる事故によって法律上の損害

賠償責任を負った場合に保険金の支払いを受けます。加入は任意です。保険の内容については、協会 HP の理学療法士賠償責任保険のパンフレットを参照してください。

HP < <http://hoken.ne.jp/rigaku/index.html> >

Q 2 個人で入っている自動車保険や傷害保険の保険料も助成してもらえるのですか？

A 2 協会の提供する理学療法士賠償責任保険のみが対象です。

Q 3 県士会の座学の研修会に参加しました。PT 賠償責任保険には加入しています。助成は受けられますか？

A 3 「座学の研修会への参加」で発生する事故は理学療法業務に関わる事故ではありませんので、PT 賠償責任保険の範囲外です。たとえ PT 賠償責任保険に入っている場合でも助成は適応されません。研修会のスタッフとしての参加の場合も同様です。

Q 4 ○○市の健康福祉祭りで理学療法士会のブースで市民の体力測定を行うイベントにスタッフとして参加予定です。助成してもらえるなら保険に入ろうと思います。

A 4 保険の支払事例に「健常者の筋力測定を行い、利用者を肉離れさせてしまった」とありますので、保険の範囲内の県士会活動と思われます。当日の旅費交通費請求書の写しを参加証明(添付書類 B)として助成が申請できます。

自分が参加する活動が保険の範囲内の活動かどうかは事前に県士会の担当部局(長)に確認してください。保険の支払事例はパンフレットを参照してください。

保険は申し込み受付日と保険期間の始期日が異なりますので早めの手続きをお願いします。

Q 5 もともと PT 賠償責任保険に加入しています。県士会のイベントなどには全く参加したことがないのですが、なんでも参加すれば助成してもらえるのですか？

A 5 あくまでも保険で補償される(理学療法業務に関わる事故の可能性のある)範囲の活動に県士会として参加した場合の助成ですので、なんでも参加すれば、というものではありません。イベント等の県士会担当部局長に活動内容が保

険の適応範囲かどうかを確認してください。

Q 6 加入者証とはなんですか？

A 6 加入者証は保険料引き落とし後に郵送されます。A 4 サイズで氏名や保険料、保険期間、証券番号などが記載してありますので大切に保管してください。助成申請の際にはコピーを添付書類 A として提出してください。

Q 7 過去に○○市健康福祉祭りに参加したことがあります。今年から保険に入りましたが助成してもらえますか？

A 7 今年度内の参加証明が必要ですので、過去の実績で助成を受けることはできません。

Q 8 年に何度も地域包括ケアシステムの関係で介護予防教室の講師をする予定がありますが、何度も申請しその都度半額の助成になるのですか？

A 8 申請は年に 1 回です。1 度でも保険の適応範囲の県士会活動に参加していれば、年間の保険料の半額の助成が受けられます。

<保険料助成についてのルール>

- ①公社) 岐阜県理学療法士会(以下県士会)が当会会員に対する福利厚生の一環として、理学療法士賠償責任保険の保険料を助成するものである。
- ②対象となる保険は公社) 日本理学療法士協会の提供する理学療法士賠償責任保険・個人賠償責任保険(以下 PT 賠償責任保険)であり、その他の保険は助成対象とはならない。
- ③対象者は県士会の会員であり、さらに県士会の事業で PT 賠償責任保険の保険範囲に含まれる活動をした会員である(保険の範囲については、「PT 賠償責任保険の支払事例・理学療法業務に関わる事故」を参照のこと)。休会者や会費未納者は除外される。県士会の事業であっても保険範囲外の活動の場合は除外される。また、会員の個人の活動の場合も除外される。
- ④事業の保険範囲内・外の確認は事業主催者側の責任で行われるものである。厚生部は申請された事業が本ルールに適していない場合は申請を破棄することができる。
- ⑤助成は事業終了後に別紙申請書に必要書類 A・B 両方を添付して各会員が自ら申請する必要がある。申請は年度内において 1 回のみとし、

B 事業参加証明の有効期間は年度内とする。

◎必要書類

A PT 賠償責任保険の加入者証

B 事業への参加が証明できるもの

旅費請求書の写しや報酬支払明細書の写し

- ⑥助成額は保険支払額の2分の1（上限2000円）とし、相当分のQuoカードを支給する。中途加入の場合には500円単位で端数切捨て対応とする。（保険料が3670円の場合は2分の1で1835円であり500円単位端数切捨てして1500円分、保険料が1670円の場合は同様に500円分）
- ⑦助成実施後に「申請時に保険を解約していた」「複数回の申請と受理」「事業参加実績がない」などの不正が認められた場合には相当金額の返金措置を取り、それに伴う費用も該当者の負担とする。
- ⑧ここに定めのない事項については会長により決定する。

平成28年2月7日 理事会承認

厚生部長 名和

会員の皆様へ

現在、最新の協会&県士会ニュースを「岐阜県理学療法士会」フェイスブック&ツイッターにて発信しています。

是非、フェイスブックで「いいね!」、ツイッターで「フォロー」していただき、情報を共有しましょう。

「岐阜県理学療法士会」で検索していただくか、県士会ホームページから入ることができます。ご協力よろしくお願い申し上げます。m(_ _)m

フェイスブック

<https://www.facebook.com/gifupt>

ツイッター

<https://twitter.com/gpta2012>

第32回東海北陸学術大会 準備進捗状況報告

大会長 榎 林 優

月1回開催してまいりました運営委員会も1/12の開催で重ねること15回となりました。今回は、学会運営を委託する「日本コンベンションサービス」より2名参加いただき、今後のスケジュール等を確認いたしました。また、ポスターや学会HP、封筒、抄録集表紙案を提示していただき、岐阜＝清流の青色を基調としたイメージで統一するように提案いたしました。

今後は事前登録に使用予定のOCSシステムの確認、演題募集時期・カテゴリー、懇親会会場等々順次決定する予定です。会員の皆様、ご協力ご支援よろしくお願い申し上げます。

以下、現時点で決定している大会プログラムです。

会期 平成28年10月22・23日

会場 長良川国際会議場

◎特別講演

日本理学療法士会 会長
元 金沢大学

半田 一登
荻原 新八郎

◎教育セミナー

脳血管系 京都大学

大畑 光司

運動器系 彦根中央病院

林 寛

呼吸器系 長崎大学

神津 玲

循環器系 名古屋大学

山田 純生

地域系 株式会社アール・ケア

山根 一人

小児系 鈴鹿医療科学大学

多田 智美

◎シンポジウム シンポジスト

山王リハビリ・クリニック

友清 直樹

筑波記念病院

斉藤 秀之

(有)ほっとリハビリシステムズ

松井 一人

◎市民公開講座

講師 (有)シュート(元横浜F・マリノス監督) 木村 和司

司会・進行 美濃市立美濃病院

大谷 卓也

司会・進行 中濃厚生病院

岡村 秀人

以上、敬称略

第4回 岐阜県病院対抗フットサル大会 (GPTFC) を 今年も開催します。

— 開催要項 —

日時：平成 28 年 4 月 24 日 (日) 9:00 ～ 15:00
場所：フットサルアリーナ本巣

参加資格：岐阜県内の病院・施設に働く職員で構成
されたチーム

岐阜県理学療法士会所属の理学療法士を
1 名以上含むこと

2 施設以上の合同チームも可

募集チーム数：9 チーム + 個人参加 8 名
(男 6 名女 2 名)

参加費：1 チーム 5000 円 (予定)

大会形式：ミックス (女性を 1 名以上含むこと)

予選リーグ戦後、決勝トーナメント
1 チーム 6 ～ 8 試合の予定

表彰：優勝、準優勝チームに豪華景品あり
MVP (男女)

<重要>

昨年は、岐阜県理学療法士会の福利厚生事業として開催したため、参加条件が厳しくなり参加できないチームがありました。

今年は、チームごとの参加条件を緩和しました。

全体の会員理学療法士の参加人数により、県士会の事業とするかどうかを決定する予定です。

なお、岐阜県士会の福利厚生事業となった場合、会員外の理学療法士の方の参加はできませんので、ご了承ください。

※申し込みは、大垣中央病院リハビリテーション科宛に e-mail もしくは FAX にてお願いします。

※ご連絡をいただいた後に、申込用紙をお渡します。

大垣中央病院リハビリテーション科

e-mail : ogakichuo_pt@yahoo.co.jp

FAX : 0584-81-1388

美濃加茂健康福祉フェア

実施日：平成 27 年 10 月 24 日 (土)

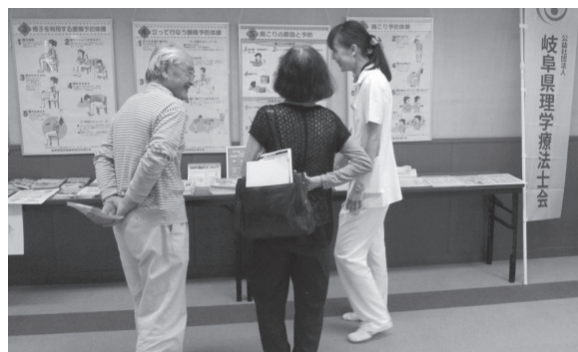
会 場：美濃加茂市総合福祉会館

スタッフ：理学療法士 2 名

利用者：46 名



平成 27 年 10 月 24 日 (土)、岐阜県理学療法士会中濃支部による社会福祉事業活動として、美濃加茂市で開かれた「美濃加茂市 健康・福祉すこやかフェスティバル」にて、市民を対象に運動体験・相談会を行いました。



このフェスティバルは、毎年、美濃加茂市で開かれており、理学療法士だけでなく医師や保健師、管理栄養士など様々な医療関係職種が関わっています。参加された市民の方々は、医師や保健師による「健康相談ブース」で問診や身長・体重・血圧などのバイタルチェック、骨密度検査などのスクリーニング検査を行います。そして、その結果を受けて運動相談・体験の介入が必要である方、もしくは希望された方々を対象に、理学療法士による個別もしくは集団での運動介入を行いました。

当日の利用者は 45 名 (男性 10 名、女性 35 名) と女性が圧倒的に多く、健康に対する関心の高さを感じました。相談内容としては、骨粗鬆症関連が一番多く、次いで肩・腰・膝などの関節痛や生活習慣



病に関するものでした。

私は急性期の総合病院に勤務しており、今回の様な地域での活動に理学療法士として関われる機会が少ない状況です。今回、障害を持つ前（入院してくる前の状態）の方が健康や日常生活に対し、どういった心配や不安を抱いているかを知り、自分の視野が広がるとても良い機会となりました。参加させて頂きありがとうございました。

木沢記念病院 横山 奈美

平成 27 年度 中濃支部リハビリフェア活動報告

日時：平成 27 年 11 月 23 日（月祝）12:00～14:00

会場：サンサンシティ マーゴ 2 階 夢広場（関市）



今年度は郡上地区が担当となり、関市にあるサンサンシティマーゴにてリハビリフェアを開催致しました。

理学療法の認知度を高めるとともに、社会における理学療法の役割について理解を深めてもらうという意義のもと介護予防の啓蒙活動を中心に行いました。

イベント開催が昼食時の時間帯ということもあり、会場に足を運んで参加して頂ける方の集客活動にはかなり難渋しましたが、それでも 20 名を超え

る方に参加して頂きました。

活動内容は来場者に対し生活上での困りごと、今後への不安等の介護予防パンフレット配布を行い、日本整形外科学会で提唱されているロコモ度テストに基づき「立ち上がりテスト」「2ステップテスト」を実施しました。



楽しみながら和気あいあいとされる方や「意外とできなかった」という方もみえ、終了時には熱心に測定結果用紙を眺めて話される姿が印象的でした。

また、リハビリに対しての不安などを相談される方もありましたが、ほとんどの方に途中笑顔が見られるなど、少しでも不安の解消や今後への参考にして頂けたのではないかと思います。

2 時間という短い時間にもかかわらず大勢の方の参加があり、またイベント終了後も会場に足を運んで頂いた方もみえ大盛況となりました。今回、このような活動を行うことで地域の皆様に理学療法を知って頂ける良い機会になったのではないかと思います。

最後に、貴重な時間を割いてご協力頂いたスタッフの皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。

中濃支部広報 郡上地区担当
郡上市民病院 矢野 夕都

平成 27 年度 中濃支部研修会活動報告

日 時：平成 27 年 12 月 14 日（月）

18：30～20：30

場 所：木沢記念病院 中部療護センター

方 式：症例検討 2 題 症例報告 1 題

演題名：①「頭部外傷により

高次脳機能障害を呈した症例」

老人保健施設 花トピア可児

山本 悠 先生

②「右視床出血を発症し、最終的に

歩行獲得を希望される症例について」

東可児病院 リハビリテーション科

三輪 哲也 先生

③訪問リハビリテーション症例報告

「再び俳句会に参加できるまで」

東可児病院 リハビリテーション科

森 久実衣 先生



寒さがひとしお身にしみる頃となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今回の中濃支部研修会は、症例検討会として行われました。平日、業務終了後の開催でしたが、45名の支部会員が参加されました。

今回の演題は、急性期・老健・訪問リハビリと多岐にわたり、様々な視点からの理学療法の考え方や理学療法士の関わり方を発表から学び、感じることができた内容だったと思います。今回も検討課題に対して小グループで意見をまとめ、それぞれ発表しました。時間の関係上、1演題につき検討時間が



10～15分程度とかなりタイトスケジュールでしたが、若い先生方が手際よくグループをまとめる姿には感心しました。

また、今年度初めての中濃支部研修会ということで、新入会員の自己紹介が行われました。12月になって「はじめまして」は少し寂しく、もっと支部会の交流機会が増えると良いですね。

最後になりましたが、症例発表を行って頂けた山本先生、三輪先生、森先生ありがとうございました。

また、いつも会場設営をして頂ける木沢記念病院の先生方に感謝の意を申し上げます。

中濃支部広報部 可児・加茂地区担当

可児とうのう病院 リハビリテーション科

加地 覚

地域包括ケア推進部の活動報告

「岐阜医師会主催 在宅医療シンポジウム 2016」

社会医療法人厚生会 木沢記念病院
総合リハビリテーション部

片 桐 辰 徳

1月17日に在宅医療シンポジウム2016にてポスター展示をさせていただき、在宅医療や地域における理学療法士の役割として、『予防、看取り、地域づくり』の視点より実際の活動内容を踏まえながら、どのようなことが提供できるのかをお伝えさせていただきました。



私が地域での介護予防活動や病院で従事するなかで、地域住民より、リハビリテーションは病気や怪我をした後に行うもので、予防としてどのようなことを実施するのかがわからない。医師やケアマネジャーなどの他職種、行政の方々からは筋肉強化トレーニングや歩行訓練といった機能訓練、マッサージなどのイメージが強く、看取りや地域活動で理学療法士ができることや、地域での活用方法がわからない。などの意見を耳にしていたため、今回はそれらのイメージを払拭し、リハビリテーションの理念を地域住民、他職種にもわかりやすくするため『自分らしく生活すること』として提示し、地域住民の方々が自分らしく生活するために具体的に理学療法士が提供できることを提示させていただきました。『予防』としては、岐阜県可児市の協力、可児

医師会の後援により作成したK体操を提示し、その方法や効果の説明を掲示し、資料も配布させていただきました。『看取り』については、呼吸リハビリテーションやポジショニングの方法や、介助者にわかりやすい介助方法の指南書を作成し、展示および配布をさせていただきました。『地域づくり』については、私が実施させて頂いている子どもたちへの体の使い方教室や、高校生と医療専門職が合同で実施する多職種連携教育、認知症サポーターの養成について紹介をさせていただきました。

地域住民の方々からは、「認知症予防、転倒予防のための体操がわかってよかった。ぜひもっといろいろ教えてほしい。」「理学療法士さんは病院だけでリハビリを行うだけではないのですね。地域でもっと活躍できる場が作っていいそうですね。」などの好意的なご意見を多数頂くことができ、準備した配布資料は大盛況ですぐに数がなくなってしまうほどでした。在宅シンポジウムで講演していただいた第2回赤ひげ大賞を受賞され、滋賀県医師会副会長などを歴任された小串先生からは「理学療法士、作業療法士は在宅医療において家族も同然です。一緒に協力して在宅医療を盛り上げましょう」とお言葉をいただくことができました。

今回の在宅シンポジウムは地域住民、他職種、行政の方々へ理学療法士ができることをアピールできたい機会になったのではないかと思います。今回の準備にあたり携わって頂いたスタッフの方々に心よりお礼申し上げます。



< 会 員 の 声 >

脳性麻痺児の運動サポート

岐阜大学大学院医学系研究科
スポーツ医科学分野

藪 本 保

まずこのような執筆の機会を与えていただき、誠にありがとうございます。

私が現在の研究職に就いて2年が経とうとしています。しかし、自身の力不足のため研究成果を世に出すことがいかに難しいか痛感させられる毎日です。今回はせっかく大勢の会員の方が目にする場です。ので、図々しいとは思いますが、私が携わっている研究についてご紹介させていただきます。

我々は、脳性麻痺児の体力向上を目指した運動サポートに関する研究を進めています。ご存知のように、脳性麻痺児の運動発達は、障害の重症度にかかわらず7～8歳の学齢期以降に運動発達が停滞してしまうことが報告されています。さらに中等度障害～重症児で

は、非進行性疾患であるにもかかわらず、運動能力が低下していく傾向にあります。具体的には、歩行可能な脳性麻痺児の45%は成人期に歩行能力を失っています。その原因のひとつに筋力や持久力の低下があげられます。脳性麻痺児は年齢に見合うだけの運動量を確保することが難しく、体力が十分に発達しないばかりか、成長期には身体が急激に大きくなることで相対的に筋力が低下したり、身体が硬くなったりして、関節拘縮や側彎、股関節脱臼などの二次障害のリスクを高めます。そこで、脳性麻痺児が実施できる効果的な体力トレーニングや評価方法について研究しています。これまでに振動刺激を補完したトレーニングの効果を学会、論文等で報告してきました。今後も振動という機械的刺激を予防医学の観点から捉えて、神経・筋機能への影響を明らかにしたいと考えています。

脳性麻痺児の運動を支援するとき、乳幼児期の運動発達促進の観点だけでは将来の危険因子を取り除くことはできません。学齢期以降も病院だけでなく、家庭や学校、福祉施設でも様々な運動やスポーツに広く、長く関わっていくことが重要と考えます。我々の研究成果が安全で効果的な運動サポートに役立つことを願って、今後も努力していきたいと思っています。

H27 賛 助 会 員

会 社 名 ・ 施 設 名	電 話 番 号
有限会社 加納ビジネス 〒 500-8456 岐阜県岐阜市加納大黒町 2 - 32	TEL 058-273-3007 (代)
有限会社 中部義肢 〒 486-0911 愛知県春日井市西高山町 3 丁目 16 - 12	TEL 0568-34-7143
岐阜保健短期大学 〒 500-8281 岐阜県岐阜市東鶉 2 丁目 92 番地	TEL 058-274-5001
東名ブレース株式会社 〒 489-0979 愛知県瀬戸市坊金町 271	TEL 0561-85-7355
株式会社 松本義肢製作所 〒 485-8505 愛知県小牧市大字林 210 - 3	TEL 0568-47-1701
特定医療法人社団慶桜会 東可児病院 〒 509-0214 可児市広見 1520 番地	TEL 0574-63-1200
学校法人誠広学園 平成医療短期大学 〒 501-1131 岐阜県岐阜市黒野 180	TEL 058-234-3324
中部学院大学 〒 501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘 2 丁目 1 番地	TEL 0575-24-2211
有限会社 名西技術所 〒 452-0902 愛知県清須市助七美里 50 番地	TEL 052-400-1118
個 人 名	
細 田 和 義	

編集後記

らいちょう116号作成に当たり、巻頭文・会員の声の原稿依頼を快諾して、ご協力下さいました、舟木一夫氏、藪本保氏に感謝致します。

この場を借りて、お礼申し上げます。

私事ですが、昨年末に子どもが誕生し、妻を助けながらの家事手伝い・育児手伝いを何とか世間様の見よう見まねで実践しており、気が付けば、妻の育児休業期間であった1年間で早々と過ぎ去ってしまっていました。月日が経つのは皆、平等の筈ですが、時間の経過（年を重ねる）とともに、こうやって1年1年を無駄に過ごしてしまうのだと、改めて痛感した1年でした。これからは、1分・1秒も無駄にせず、充実した1年にしていこうと、心にだけは決める今日この頃でした。(Y)

公告掲載のご案内

士会ニュース公告掲載のお問い合わせ・申し込みにつきましては
広報部までお願いいたします。

広報部

〒503-2417 揖斐郡池田町本郷 1551-1

医療法人社団橘会 新生病院

リハビリテーション科 伊藤康行

TEL.0585-45-3161 FAX.0585-45-3255

E-mail : shinsei4@octn.jp

2016. 2. 22

発行人：公益社団法人 岐阜県理学療法士会

会長 榎 林 優

事務局：〒500-8384 岐阜市藪田南1丁目11番12号

岐阜水産会館 601号室

TEL・FAX (058) 277-6166

編集：伊藤康行

印刷所：(有)いすくら